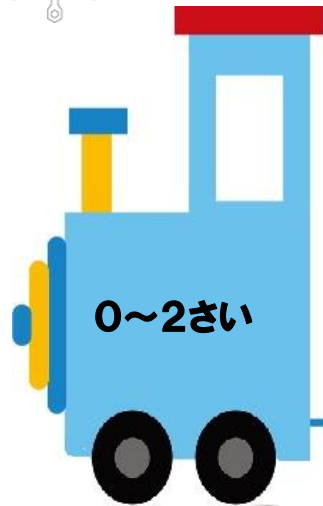


# おはなしトレイン

## ふゆのワクワク号

0さい（あかちゃん）から 5さいまでの みなさんに おすすめの本を 選びました。

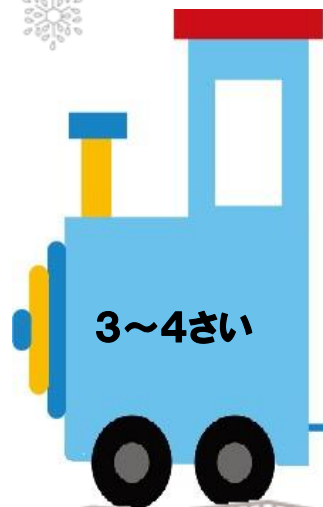


ましませつこ  
真島節子/絵  
こぐま社

### 「あんたがたどこさ

—おかあさんと子どものあそびうた—

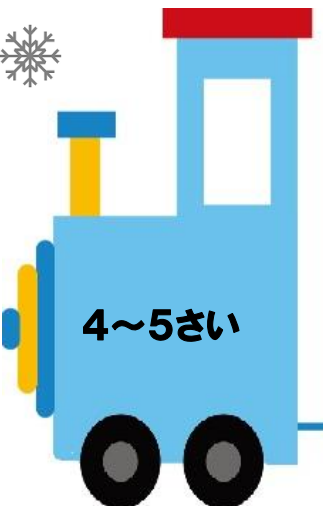
ずっと昔から歌い継がれ、日本の子どもたちに親しまれてきたわらべうたやあそびうた。かわいらしくどこか懐かしい絵とともに、「あんたがたどこさ」「おてらのおしょうさん」など15曲が収録されています。日本の伝統文化が見直されている今、親子で歌って遊んでみませんか？ お父さんお母さんが、子どものころに歌っていた歌もあるはずですよ。



フランソワーズ/文・絵  
与田準一/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

### 「まりーちゃんのくりすます」

まりーちゃんはひつじのぱたぼんに、クリスマスにはサンタクロースがプレゼントを持ってきて、木のくつにいれてくれるよと話します。でも木のくつを持っていないぱたぼんは、ひとりさみしい気持ちになってしまうのです…。1953年に原書が出版された本ですが、素朴でやさしいタッチの絵は愛らしく、全く古さを感じさせません。子どもも大人も、温かい気持ちになれるおはなしです。



ハリエット・ジーフェルト/文  
アニタ・ローベル/絵  
まつかわまゆみ/訳  
松川真弓/訳  
評論社

### 「アンナの赤いオーバー」

戦争が終わったら新しいオーバーを買ってもらおう約束だったアンナ。しかし、戦争が終わっても店に物はありません。お母さんが約束を守るために思いついた事とは？ 表紙を開いたページでは古いオーバーだったアンナが、最後には1年かけて手に入れた新しいオーバーを着て誇らしげに立っています。何でもすぐに手に入る今の時代、この季節にこそ読んであげてほしい1冊です。





0～2さい



ヘレン・オクセンバリー/作  
ぶん 文化出版局

### 「ともだち」

「あかちゃんのえほん」シリーズからの1冊。うさぎ、いぬ、モルモットなどあかちゃんはすっかりともだち気取りですが、よく見ると動物たちはちょっと迷惑そう？でも最後のカモのページだけはあかちゃんの方が困り顔です。字のない絵本ですので「わんわんだね」「にゃあにゃもいるね」と語りかけてあげてください。優しい声の響きがお子さまの心に残っていきますよ。



3～4さい



ゼリーナ・ヘンツ/文  
アロイス・カリジェ/絵  
おおつかゆうぞう 訳  
大塚勇三/訳  
いわなみしよてん  
岩波書店

### 「ウルスリのすず」

ウルスリは、小さいながらもお手伝いをよくする元気な山の男の子。鈴行列のおまつりで、大きな鈴を持たせてもらおうと大きな子に交ざって並びますが、一番小さな鈴を渡されてしまいがっかり。そこでウルスリは、大きな鈴を求めて、まだ雪深い山小屋を目指します。古くからスイスに伝わるおまつりを通して成長する、ウルスリと家族の心温まるおはなしです。



4～5さい



あんの みつまさ へん  
安野光雅/編  
どうわ や  
童話屋

### 「まるいちきゅうのまるいいちにち」

1月1日グリニッジ標準時0時。あの国のあの子は何してる？8か国の子どもの様子、それぞれの国にゆかりのある8人の絵本作家が描きます。時刻や文化、風習の違い、または共通点などを自然な感覚で知ることができます。唯一「空想上の島」という設定の無人島にいるタスケくんの、ちょっととぼけたつづやきが、絵本の進行を絶妙にタスケてくれていますよ。

### 【保護者のみなさまへ】

- 千代田図書館では、区立の幼稚園、こども園、保育園、児童館に司書を派遣し、読書活動の支援を行っています。
- 紹介した本は千代田区立図書館で借りられます。

